

〔 農 業 経 営 〕

九州における農家経済の再生産に関する一考察

田 中 洋 介

(九州農業試験場)

TANAKA, Y.

Changes in Ecomic Situations of Farms of Kyushu

1. 南九州の宮崎、鹿児島、北九州の代表として佐賀、熊本の4県をとりあげ、最近10カ年間の蓄積、借入、投資、生産（収益）といった農家経済の再生産の動向を検討する。

2. 農業所得の推移をみると、佐賀の高位停滞、熊本の中位停滞、宮崎の低位から中位への躍進、鹿児島中の低位停滞を特徴づけることができる。

3. 農業投資ファンドの大きさは蓄積資金および借入金金の大きさに規制される。農家の蓄積資金の大きさを示す流通資産は4県とも全国平均を下まわり、とくに宮崎、鹿児島は50%程度にすぎない。一方、借入金はいず

れも大きく、とくに宮崎は大きい。また鹿児島は44年以降減少に転じている。

4. 農業投資の状況を示す農業固定資本額の推移をみると、佐賀、熊本は漸増、宮崎は急増、鹿児島は漸増から漸減に転じている。

5. 同じく南九州でも鹿児島が資本粗放・低生産性の状態に低迷しているのに対して、宮崎は、農業への拡大投資に支えられて低生産性状態から離陸し、損益勘定の面では改善が進められているが、反面、負債も大きく、また農業固定資本の収益率もきわめて低く、財産勘定の面で困難を発生させている。

佐賀県、熊本県、宮崎県および鹿児島県における農家経済再生産の推移
—都府県平均を100とした場合の指数—

昭和年		38	39	40	41	42	43	44	45	46	47
農 業 所 得	佐賀	127	141	153	140	126	125	143	127	131	126
	熊本	104	107	116	118	110	112	110	108	108	101
	宮崎	82	72	88	86	86	96	95	94	101	105
	鹿児島	74	57	68	68	62	62	62	58	67	70
流 通 資 産	佐賀	88	84	86	90	82	85	94	92	92	75
	熊本	56	56	57	55	63	68	66	65	64	66
	宮崎	43	39	41	42	44	54	51	49	51	52
	鹿児島	42	45	45	48	51	48	41	40	46	48
借 入 金	佐賀	129	100	94	83	114	116	135	135	125	110
	熊本	104	98	102	123	122	121	128	120	133	115
	宮崎	155	158	163	168	190	180	182	167	174	200
	鹿児島	108	105	107	101	97	113	98	93	90	73
農 業 固 定 額	佐賀	118	124	126	122	124	137	136	135	139	147
	熊本	112	102	107	106	114	118	115	121	124	123
	宮崎	110	103	107	113	123	145	149	155	157	161
	鹿児島	67	69	69	80	86	90	108	102	97	93
農 業 固 定 資 産	佐賀	108	113	121	115	100	92	105	94	94	86
	熊本	92	104	108	111	100	96	95	89	87	89
	宮崎	75	70	82	77	67	68	65	62	61	66
	鹿児島	110	82	99	85	67	69	58	58	70	76

備考：農林省農家経済調査